

# サポーターズタイムズ

## Supporters Times



2007年(平成19年)  
7月1日(毎月1日発行) **No. 144**

秋葉けんやサポーターズ事務所  
自由民主党宮城県衆議院比例区第一支部  
〒981-3121 仙台市泉区上谷刈4-17-16

Tel 022(375)4477

Fax 022(375)0057

衆議院議員 **秋葉 けんや** 政策・活動レポート

購読料 年額6,000円

編集 集 (株)アクトジャパン

## 地域に活力、成長で活力

延長された通常国会も5日に閉会し、いよいよ参院選に入る。今国会では国民投票法や教育関連3法、社保庁改革法、公務員制度改革法など安倍政権が最重要法案に位置づけていたものをすべて成立させたことで、確かな実績を残したといえよう。同時に、道交法改正による飲酒運転への罰則強化や犯罪被害者が裁判に参加できるよう見直した刑事訴訟法の改正などのように国民生活に密着した法案も着実に成立させることが出来た。

私は、こうした国政の動きを皆さんに知って戴くため、毎週月曜の朝には、仙台地下鉄やJRの駅前で街頭演説を行っている。その際よく耳にするのは、景気回復の兆しを実感できないという率直な生の声だ。特に日本経済を支える

地方の中小企業の経営状態は、依然として厳しいことは否めない。地域に深く根差している中小企業は地域活性化の主役であり、中小企業が持続的に成長を続けるための環境整備を強化していくことが不可欠だ。

すでに国会では、中小企業経営革新支援法、新事業創出促進法、中小創造法の中小企業関連3法を整理・統合した「中小企業新事業活動促進法」が制定され、総合的施策が講じられてきている。平成19年度の予算・税制措置では、厳しい財政事情のなか、中小企業対策費として前年比9億円増の約1625億円を計上したことに加え、今年度の税制改正では中小企業関係の減税規模を4080億円にまで拡充してきている。また、中小企業の資金調達を多様化するため、従来のように不動産担保に過度に依存した融資制度ではなく、売掛金債権を担保にした融資制度の創設などを実現してきた。

さらに、今国会でも、中小企業対策関連法案が次々と成立した。例えば、中小企業地域資源活用促進法が成立、地域の強みである地域資源を活用した中小企業の新商品・新サービスの開発・市場化を総合的に支援するための「中小企業地域資源活用プログラム」が新設され、平成19年度予算として約101億円を計上された。これにより、地域産業発展の核となる新事業1000の創出(5年間)に向け、実効的な取組みの促進が期待できる。加えて、中小企業への資金供給の更なる円滑化を進めるための中小企業金融関連2法(「中小企業信用保険法の改正」「株式会社商工組合中央金庫法」)が成立した。中小企業金融を支える商工中金が引き続きその機能を発揮していけるように完全民営化までの移行期に係る商工中金のあり方が規定されるとともに、在庫債権を担保にできる「流動資産担保保険」や「事業再生保険」の新設が規定された。

地域経済を支える中小企業の成長なくして、日本経済全体の実質的な成長はありえない。人口減少下でも持続的に民間需要主導で成長する「日本型経済成長モデル」を実現し、実質で2%台半ばの経済成長を確かなものにしていく鍵は、中小企業の振興にあると確信している。中小企業の視点から「経済成長戦略大綱」を見直し・改定し、地域の中小企業がその能力や持味を発揮しやすい環境づくりとそのための関連法の立法化に取り組んでいきたい。

衆議院議員 **秋葉 賢也**



**未来のために必要なことを、今。松下政経塾出身、44歳!!**



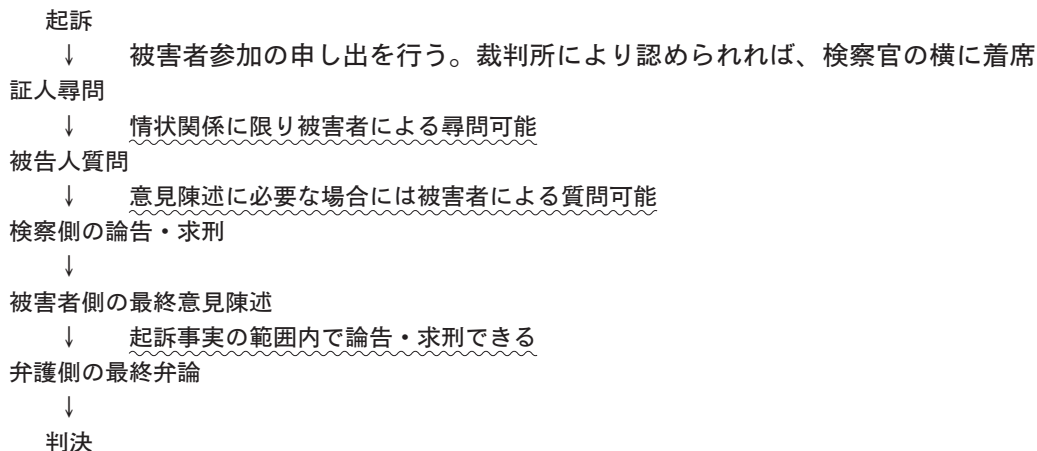
## ～重要課題の政治的解決を実現しました！～

### ～裁判への被害者参加が可能になります～

犯罪被害者や遺族が刑事裁判に参加して、被告人に質問したり、量刑に関する意見を述べることを可能にする『被害者参加制度』の導入を中核とした刑事訴訟法改正案が、衆院法務委員会で可決されました。

これは、殺人罪、業務上過失致死傷罪、強姦罪、逮捕・監禁罪、誘拐罪など、**個人の生命・身体・自由に対する犯罪について、被害者側の申し出と裁判所による許可を条件に刑事裁判への犯罪被害者等の参加を認める**ものです。

刑事裁判への被害者参加制度を分かりやすくまとめると、次のようになります！



更に、刑事裁判で被告人に有罪判決が下された場合、被害者側が被告人に損害賠償を請求でき、裁判官が賠償命令を出す『私訴制度』も盛り込まれており、これまで刑事裁判の外に置かれていた犯罪被害者の権利を守るための画期的な法改正として評価できます。

## 国民の皆さんの声を着実に国政へ・施策へ反映！

秋葉代議士は、これまでも、紹介議員として皆さんの声を国政に届け、具体的政策へと結びつけています。第166回通常国会会期中も皆さんの声を国政に届け、次のような具体的な施策へと導きました。

### ① 豊かな私学教育の実現のための私学助成に関する請願

→ 『経済財政運営と構造改革に関する基本方針2006』で示された、「各年度の予算額を名目値で対前年度比マイナス1%とすることを基本とする」なか、**高等学校以下の私学助成については、対前年度同額を維持する一方、大学の特色を活かすことができるよう、使い勝手のよい補助制度に改善すべく特別措置の全面的見直し**等で、総合的な私学振興策が講じられました（文部科学省）。

### ② 保育・学童保育・子育て支援策の拡充等に関する請願

→ **保育所の直接契約方式**については、『規制改革・民間開放推進3ヵ年計画』で長期検討事項とされ、現在、検討が進められています。

保育士の配置基準等保育所の最低基準については平成10年に乳児に関わる保育士の配置基準が3対1に引き上げられましたが、今後も児童の健全な育ちを確保する観点を踏まえて適切に対処する方針です。

**保育所及び放課後児童健全育成事業（いわゆる学童保育）**については、これまでも子ども・子育て応援プランに基づき計画的な整備を進め、平成19年度までの3年間で集中的に保育所の受け入れ児童数の拡大を図るとともに、平成19年度には放課後児童健全育成事業の更なる充実を図ることとしています。

地域の子育て支援については、平成19年度予算において、子育て支援拠点の拡充を図ることとされており、引き続き、適切に対応するものとしています（厚生労働省）。





## 年金特例法案・社会保険庁改革法案が衆議院で可決!

年金記録ミスによる支給漏れに対応する『年金特例法案』と、社会保険庁を廃止・解体するための『社会保険庁改革法案』が、6月1日未明に、衆院本会議で可決されました。

各法案のポイントは、次の通りです。

(年金特例法案のポイント) (社会保険庁改革法案のポイント)

- ①記録ミスによる年金の支給漏れが判明した場合、不足分を全額受け取れるようにするため、5年間の時効を撤廃
- ②年金の個人情報と正確に管理するため政府に万全の措置を講じるべき責務を規定
- ③2008年度に本格開始予定の「ねんきん定期便」で、年金受給前の加入者にも記録確認を呼び掛ける。

- ①年金部門を「日本年金機構」に引き継ぐ
- ②理事長は厚生労働大臣が任命、役職員は非公務員(但しみなし公務員として刑法などの罰則は適用)
- ③保険料徴収など業務は幅広く民間に委託
- ④悪質滞納者に対する徴収を国税庁に委託。
- ⑤機構職員の採用に当たり、厚労相が選任した学識経験の意見を聞く。

## 臨時国会に法案提出!

秋葉代議士は、首長多選制について都道府県知事や政令市長の多選についても法律で一律に禁止すべきではなく、憲法が保障する自治の範囲内で条例で規定することを認めるべきだ、との持論を主張してきました。

掲載された記事は、秋葉代議士が首長の多選制限について、都道府県知事と政令市長の任期として3選(在任12年)容認について言及したものです。

自民党では、首長多選制限について、都道府県知事と政令市長については、4選禁止を内容とする法整備に着手することを決定し、その他の市町村長については、多選制限について条例の制定を認めるとしました。

6月7日に開かれた党改革実行本部『首長多選問題小委員会(主査・秋葉賢也衆議院議員)では、「首長の4選禁止」法制化を参議院選の公約に盛り込む他、早ければ秋の臨時国会に地方自治法の改正案を提出することで、合意に達しています。

## 「4選禁止」法制化へ

### 自民着手 知事と政令市長

自民党は7日、首長の公認・推薦をしない内閣制を盛り込む方針、多選制限について、都道府県知事と政令市長の4選禁止を法制化する方針を明らかにした。7日決した参議院選の公約では、多選制限の法制化をめぐり、自民党は「首長の3選以上の法制化を容認する」としていたが、改めて「知事の4選禁止の法

案を提出する」と変更された。参議院公約に盛り込むが、早ければ秋の臨時国会に地方自治法の改正案を提出する。7日開かれた党改革実行本部の首長多選問題小委員会(委員長・西田昌司、副委員長・秋葉賢也)で合意した。秋葉代議士は「(任期)おわれば選挙のチャンス(選)が得られた(年)3選(在任)12年は容認すべき」との考えを示した。自民党は、4月の総選挙で首長

毎日新聞 H19.6.8

## 明泉学園関係者による国会議事堂見学を実施

幼児から生の英語教育を提供している明泉学園関係者の皆さんが来日し、国会議事堂見学を楽しまれました。

当日は、秋葉代議士が副幹事長として使用してきた『院内自民党幹事長室』、『院内自民党幹事長会議室』を訪問、秋葉代議士との記念撮影をした後、本会議場、御休所(天皇陛下の控え室)、中央広間(この中央広間は1階から4階まで吹き抜けて、天井までの高さは32.62メートル、窓と天井には英国産のステンドグラスがはめ込まれています。広間には、日本の議会政治の確立に貢献した、伊藤博文、板垣退助、大隈重信の銅像が立っています)を見学されました。



(衆院第一議員会館内の会議室にて)

ご来日された参加者の皆さんに、日本の国会について理解して頂けるよい機会をもつことができました。

## 公務員改革法案 衆議院で可決!

国家公務員の天下り規制と人事管理への能力・実績主義の導入を柱とする公務員制度改革関連法案が、衆院で可決されました。この法案のポイントは次の通りです。

### (再就職に関する規制)

①再就職あっせんの規制(『官民人材センター』の設置)、②現職職員の求職活動規制、③退職職員の働きかけ規制、④働きかけを受けた現職職員の規制、⑤前記①～④の違反行為には懲戒、過料を科し、不正行為などには刑罰を科す。

### (能力・実績主義)

①職員の任用、給与その他の人事管理については職員の採用試験の種類や年次にとらわれない(人事管理の原則)、②専門スタッフの実現、公募制の導入など。

## 年金「記録」問題の早期解決を実現します！

重要案件として解決が急がれる「年金記録問題」。これは皆さんの年金記録が消えたことを意味するものではありません。平成8年まで国民年金、厚生年金、共済年金など制度ごとに管理されていたため、転職や結婚などで他の制度に加入した方は数口の年金記録を持つことになりました(約3億口)。平成9年から基礎年金番号制度が導入され、一人一口に年金記録を統合することになりましたが、結果として、数口の年金記録をもつ3億口のうち約2億5000万口だけが基礎年金番号に統合され、基礎年金番号に未統合の記録が5000万口も残ってしまいました。これが、いわゆる「年金記録問題」で、政府は一年以内に全ての名寄せを完了する方針を打ち出しています。

皆さんの年金に関するご相談は、お近くの窓口まで！

- 仙台東社会保険事務所 022-257-6111
- 仙台南社会保険事務所 022-246-5111
- 仙台北社会保険事務所・仙台年金相談センター  
022-224-0891

## 「歴史に学ぶ怒の政治」について作家・童門冬二さんと意見交換

作家・童門冬二さんを講師にお招きし、「夢づくり道場」が党本部で開催されました。童門さんは、目黒区役所職員から、都立大理学部事務長、知事秘書、広報室長、政策室長などを歴任後、作家活動に専念したという経歴の持ち主で、代表作『詳説上杉鷹山』をはじめ、歴史に題材を求めながら『組織と人間』をテーマにした多数の作品を世に残しており、種々の作品を私も拝読してきました。童門さんは歴史を死体解剖するのではなく、生体解剖する歴史観を有しており、テーマにある『怒の政治』については、優しさ・思いやりの政治の歴史的意義について貴重なご見解をお聞きするだけでなく意見交換もさせていただきました。

童門さんと▶



## 秋葉けんやと語る会

〈国政報告会〉

(泉区)

7月13日(金) 19時~20時

加茂市民センター研修室

(泉区加茂4丁目2番)

TEL 022-378-2970

(宮城野区)

7月20日(金) 19時~20時

幸町市民センター会議室

(宮城野区幸町3丁目13番13号)

TEL 022-291-8651

(若林区)

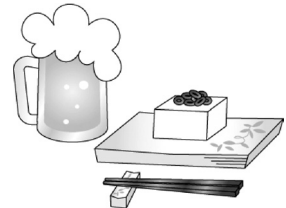
7月21日(土) 19時~20時

六郷市民センター第一会議室

(若林区今泉1丁目3番19号)

TEL 022-289-5127

## 中小企業家賢友会 ～ビアパーティ～



日時 7月27日(金)

午後7時~

会場 イズミティ21 展示室

泉区泉中央2-18-1

☎ 022-375-3101

参加費 ¥3500

お問い合わせは、秋葉賢也仙台事務所まで！

## 秋葉 賢也 (あきば けんや) プロフィール

- 昭和37年7月3日宮城県生まれ、44才。
- 角田高校を経て、中央大学法学部卒業、東北大学大学院法学研究科博士課程前期修了。
- 財松下政経塾卒塾(第9期生 宮城県初)を経て、宮城県議会議員(三期)を務める。
- 現在、衆議院議員(二期目)。

【衆議院所属】文部科学委員会委員、災害対策特別委員会理事、行政改革特別委員会委員

【自民党役職】厚生労働部会副部会長、総務部会副部会長、国際局次長、青年局次長、拉致問題対策特命委員会幹事、外交力強化に関する特命委員会委員 他

【その他】宮城県トライアスロン協会副会長、宮城県セーリング連盟顧問、保護司、宮城県土地家屋調査士協会顧問 他

- 著書：「地方議会における議員立法」(文芸社)、「東北の夢創造」(ぎょうせい)。
- 趣味：野球、空手などスポーツ、音楽、映画。

